

2022年7月19日

各位

会社名 ザインエレクトロニクス株式会社  
代表者の役職名 代表取締役社長 南 洋 一 郎  
(スタンダード・コード番号: 6769)  
問い合わせ先 取締役総務部長 山 本 武 男  
電話番号 03-5217-6660

## (訂正後)第2四半期累計期間および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月7日に公表した2022年12月期第2四半期および通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年1月1日~2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,431	百万円 203	百万円 204	百万円 124	円 銭 11.53
実績(B)	2,303	348	678	555	51.40
増減額(B-A)	△128	145	473	431	
増減率(%)	△5.3	+71.2	+231.0	+345.6	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	1,864	128	270	233	21.60

#### 2. 修正の理由

当社は2024年度を目標年次とする中期経営戦略「5G & Beyond-NE」を推進しております。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長により営業利益の3倍増を目標とし、さらに戦略5ゴールを超えた長期成長目標に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響が継続する中、前期より引き続きLSI事業において主に国内および中国・米国を中心とした海外市場向けの製品出荷が好調に推移した一方、AIOT事業においては中国上海地区のロックダウンの影響等により一部の顧客向けの製品出荷の遅延や顧客側の生産計画見直しの影響で当初計画を下回る見込みとなりました。これらの結果、当社グループ全体としては売上高が当初計画を若干下回る見込みである一方、売上総利益については計画を上回る見込みです。

特にLSI事業においては、昨年より引き続き製造キャパシティが非常に厳しい環境下ながらも営業と生産を一体とした事業運営の下で、計画を大きく上回る出荷を実現できる見込みであり、上述のAIOT事業における計画未達分を概ねカバーできる見込みであります。

販売費及び一般管理費について研究開発活動を順調に進めつつコスト削減を進めた結果、全体として削減できる見込みとなり営業損益についても当初見込みより改善される見込みとなりました。

また、経常損益および四半期純損益についても、上記理由に加え、為替が前期末比で大幅に円安に推移したことにより、主に現預金等の保有する外貨建資産の換算差益として為替差益3億17百万円を計上すること等により当初見込みより大幅に改善される見込みとなりました。

3. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,502	百万円 544	百万円 548	百万円 334	円 銭 30.91
今回発表予想（B）	5,502	544	856	649	60.03
増減額（B－A）	－	－	307	315	
増減率（％）	－	－	+56.0	+94.3	
（ご参考） 前期実績 （2021年12月期）	4,441	485	698	727	67.32

4. 修正の理由

2022年12月期第2四半期累計期間についての修正理由でご説明の通り、当期の売上につきましては、AIOT事業において事業進捗に遅れが生じておりますが、LSI事業は引き続き順調に推移する見込みであり、連結売上高および連結営業利益については2022年2月7日に公表いたしました業績見込からの変更はございません。経常損益および四半期純損益については、現状の為替相場を考慮いたしますと当初見込みより大幅に改善される見込みとなり、上記の通り修正することといたしました。

以上